

メラ台数*設置日数))は、95.2%~100.0%と高水準で推移した。(表2)。

- ・2022年12月24日~2023年10月2日までの約10か月間はネズミの撮影は確認されなかったが、2023年10月2日~10月15日までの約2週間において3台のカメラで広範囲にネズミが撮影された(図2)。その後、2025年12月17日まで794日間、ネズミは撮影されていない(図2)。
- ・SIMカメラ3台については、2026年1月28日まで撮影状況を確認できているが、ネズミの撮影はない。
- ・林野庁で設置しているオガサワラカワラヒワモニタリング用カメラ4台では、上記、再撮影があった2023年10月に1ヶ所でネズミが撮影されたが、以降は2025年11月19日までネズミは撮影されていない。

表2 平島ネズミカメラのカメラ有効稼働率(有効稼働日数/(カメラ台数*設置日数))

年度	調査期間	カメラ台数*設置日数 (台日)	カメラ有効稼働日数 (台日)	カメラ有効稼働率 (%)
2022	2022/12/3~2023/3/31	2411	2411	100.0
2023	2023/4/1~2024/3/31	8817	8726	99.0
2024	2024/4/1~2025/3/31	9731	9262	95.2
2025	2025/4/1~2025/12/17	5220	5039	96.5

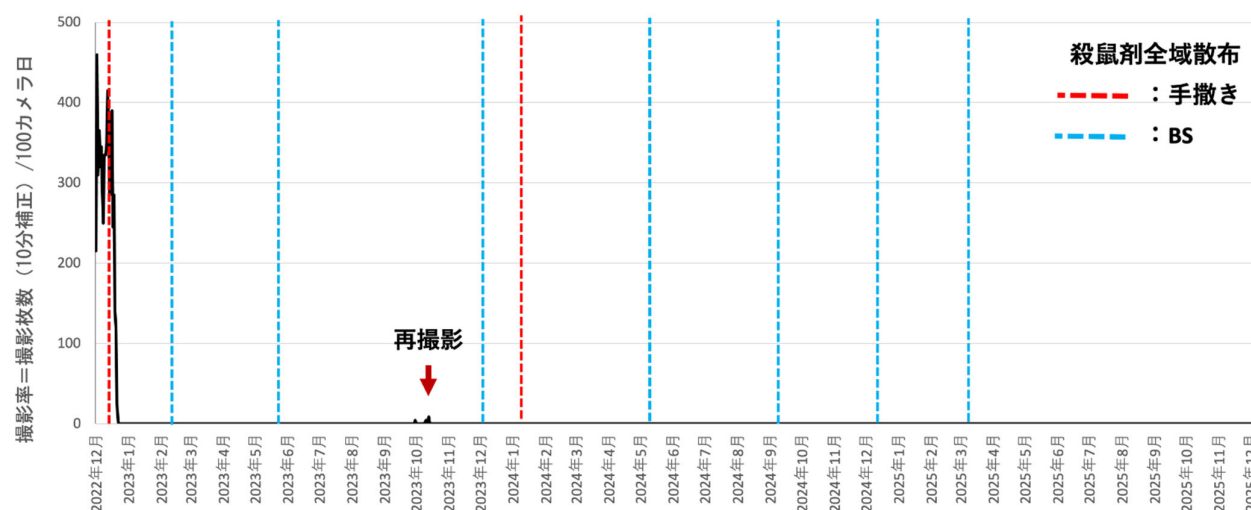


図2 平島ネズミカメラのネズミ撮影率(2022/12/3~2025/12/17)

3) 丸島・二子島のネズミモニタリング体制

- ・丸島・二子島では、小笠原村が2023年11月1日に二子島3台、11月2日に丸島2台のカメラを設置した(図3)。
- ・二子島は2024年5月14日、丸島は5月15日に、設置していたカメラをSIMカメラに交換し、遠隔モニタリングを開始した。
- ・2025年4月より環境省にモニタリング事業を移管し、SIMカメラによるモニタリングを継続している。

4) 丸島・二子島のネズミ撮影状況

- ・2022年度から2025年度までの丸島及び二子島のネズミモニタリングにおけるカメラ有効稼働率は、82.4%~100%で推移しており、調査データの信頼性は概ね確保されていた(表4)。2025年度にカメラ有効稼働率が

低下した要因としては、丸島では2台中1台、二子島では3台中2台が、カメラの不具合や草木の映り込み等により、一定期間稼働が停止または無効な撮影となったことによるものである。

- ・両島とも、2023年11月の殺鼠剤散布5日目以降、2026年1月31日までネズミの撮影はない（図4）。

表4 丸島・二子島のネズミカメラのカメラ有効稼働率（有効稼働日数/(カメラ台数*設置日数)）

丸島				
年度	調査期間	カメラ台数*設置日数 (台日)	カメラ有効稼働日数 (台日)	カメラ有効稼働率 (%)
2023	2023/11/1~2024/3/31	302	302	100.0
2024	2024/4/1~2025/3/31	730	668	91.5
2025	2025/4/1~2026/1/31	612	504	82.4

二子島				
年度	調査期間	カメラ台数*設置日数 (台日)	カメラ有効稼働日数 (台日)	カメラ有効稼働率 (%)
2023	2023/11/1~2024/3/31	456	456	100.0
2024	2024/4/1~2025/3/31	1095	1035	94.5
2025	2025/4/1~2026/1/31	918	757	82.5

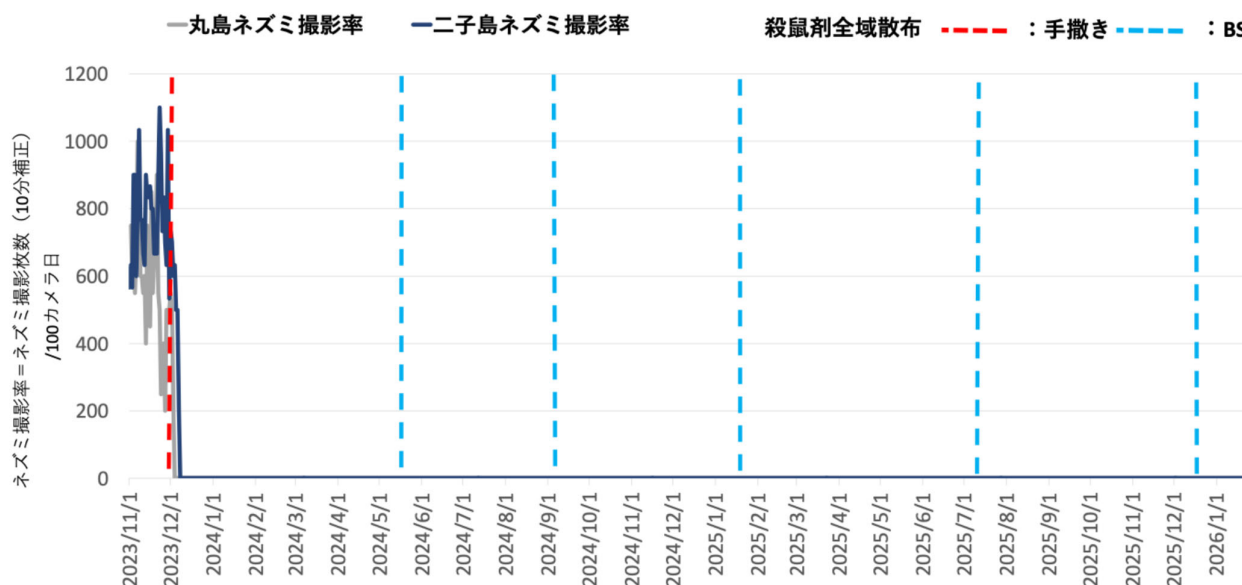


図4 丸島・二子島のネズミ撮影率（2023/11/1～2026/1/31）

3. その他（オガサワラカワラヒワの撮影状況）

- ・ネズミモニタリングカメラでは、オガサワラカワラヒワも度々撮影された。2025年度は、丸島（4/3～4/18）、二子島（4/4～5/6）、平島（5/22～9/29）で撮影が確認されている（写真1）。



写真1 ネズミモニタリングカメラで撮影されたオガサワラカワラヒワ3羽 (丸島 ma01, 2025/4/3)